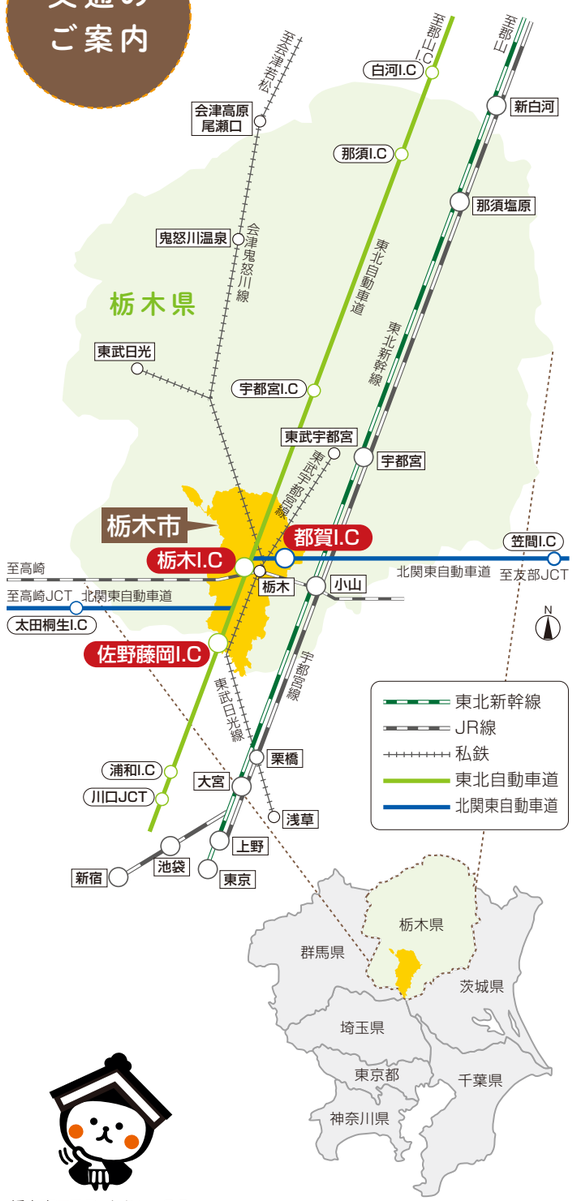
交通のご案内



栃木市マスコットキャラクター
とち介

■お問い合わせ
栃木市役所 住宅課
〒328-8686 栃木市万町9-25

☎0282-21-2451
FAX：0282-21-2676
メールアドレス：jyutaku@city.tochigi.lg.jp

電車利用

●東武鉄道（特急スペーシア／きぬ・けごん）（浅草駅から約65分）

浅草 → 日光線 特急 約10分 → 北千住 → 日光線 特急 約20分 → 春日部 → 日光線 特急 約35分 → 栃木

東武日光 — 区快 約60分 →
鬼怒川温泉 — 区快 約70分 →
会津高原尾瀬口 — 区快 約120分 →
東武宇都宮 — 普通 約30分 →
→ 栃木

●JR東日本（東京駅から約55分）

郡山 → 東北新幹線 約30分 → 宇都宮 → 東北新幹線 約10分 →
東京 — 東北新幹線 約45分 →
上野 — 宇都宮線 快速 約65分 →
高崎 — 両毛線 普通 約90分 →
→ 小山 → 両毛線 普通 約10分 → 栃木

●JR・東武直通（JR特急きぬがわ・日光・スペーシア）（新宿駅から約70分）

新宿 → 約5分 → 池袋 → 約20分 → 大宮 → 約45分 → 栃木

鬼怒川温泉 → 東武日光線 約60分 → 栃木

お車利用

●東北自動車道（川口JCTから栃木I.Cまで約45分）

川口JCT → 東北道 約35分 → 佐野藤岡I.C → 東北道 約10分 → 栃木I.C

郡山I.C — 東北道 約90分 → 栃木I.C

●北関東自動車道（友部JCTから栃木I.Cまで約38分）

高崎JCT — 北関東道 約50分 → 栃木I.C

友部JCT → 北関東道 約35分 → 都賀I.C → 北関東道 約5分 → 栃木I.C

栃木市ってどんなとこ？

データで見る栃木市

項目		数値	県内順位	出典
人口		159,211人	3位	H27国勢調査
面積		331.50km²	8位	H27国土地理院
商業	事業所数	1,527所	3位	H26商業統計調査
	商品販売額	2,776億5,800万円	4位	H26商業統計調査
工業	事業所数	426所	3位	H26工業統計調査
	製造品出荷額等	8,981億5,070万円	2位	H26工業統計調査
農業	農家戸数	5,461戸	1位	2015年農林業センサス

栃木市は栃木県の南部に位置し、西には「三鬼山」「太平山」、南には「渡良瀬遊水地」など県南のシンボル的な自然景観と「渡良瀬川」「思川」「巴波川」「永野川」などの豊かな河川を有しています。

古くは飛鳥時代から平安時代にかけて下野国庁が置かれ、江戸時代には、日光例幣使街道の宿場町として栄えました。市内を流れる巴波川の舟運を活用した商人町として発展を遂げ、北関東随一の商都と呼ばれました。

現在も街中を流れる巴波川の岸辺には、黒塗りの重厚な見世蔵や板塀、白壁の土蔵群などの歴史的建造物が残っており、映画やテレビドラマなどの撮影によく使われています。

また、この巴波川には小型の遊覧船があり、舟に乗りながら船頭による観光案内と舟歌を聞く事ができます。川面から見上げる蔵の様子は、一味変わった情緒があります。

隔年で開催されるとちぎ秋まつりには、全国から多くの観光客が訪れ、市内最大のお祭りとなっています。見事な彫刻と金糸・銀糸の刺繍で豪華に飾られた人形山車が、蔵の街とちぎを練り歩く様子は小江戸の粋を感じさせます。

また、陸の松島と称される太平山やラムサール条約登録湿地となった渡良瀬遊水地など豊かな自然がたくさんあります。

さらに、栃木市は、ぶどうをはじめとする多彩な農産物を生産する県内有数の農業地帯でもあり、食の地域ブランドとしても認知され、賑わいを呼んでいます。

市内各地に産業団地があり、東北自動車道と北関東自動車道の結節点に位置し栃木・佐野藤岡・都賀3つのインターチェンジが整備され主要都市へのアクセスに優れているなど地理的条件にたいへん恵まれています。また、地震の影響が少ない「安全安心な操業環境」も自慢です。

交通の面では、東京駅まで電車を使って最短約55分。新宿駅までの直通電車もあります。都内への通勤・通学も十分に可能です。

交通アクセスが良く、自然も豊か。そう、栃木市は「ちょうどいい田舎」なのです。利便性と生活環境に恵まれた栃木市で、あなたらしい生き方を探してみませんか？

さぁ、あなたも『とちぎで暮らそ』。

栃木市章

デザインコンセプト

緑色の4本のラインは「自然」、「歴史」、「地域」、「人」を表し、青色はこれらがひとつとなった大河の流れを、その先にあるオレンジ色の円は輝かしい未来と人々の情熱を表しています。いままでの歴史を受け継ぎ、明るい未来へと続くイメージを栃木市の「と」の文字をモチーフに表現しました。

栃木市を感じる

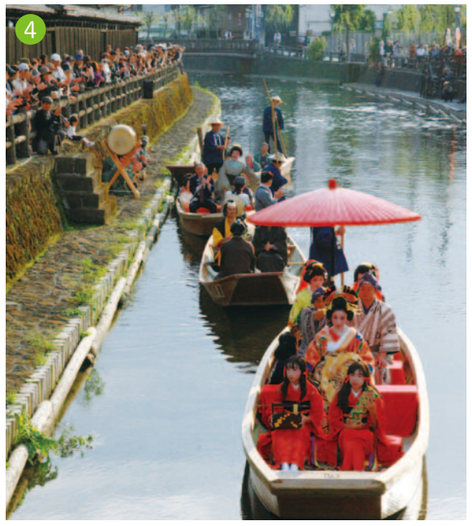
栃木市のオススメポイントを
厳選してご紹介します。

来て良し！ 観てよし！ 住んで良し！
栃木市の魅力を感じて下さい。

1

2

3


4

5

6

1 とちぎ秋祭り

江戸との舟運で栄えた商都「小江戸とちぎ」には、今でも商人の心意気が残っています。豪華絢爛な山車が蔵の街を巡行する「とちぎ秋まつり」は、栄華を極めた往時の栃木を彷彿させます。江戸末期から明治にかけての美術工芸の粋を集めた人形山車、そして山車同士がお囃子を競い合う「ぶっつけ」は、祭り一番の見どころです。

2 歴史のある街並み

栃木市は江戸時代より例幣使街道の宿場町として栄えました。京都から日光に至る例幣使街道が通る栃木の宿は、東照宮に参拝する西国の諸大名も通り、賑わいを見せました。

この例幣使街道の一部が、今の中心街をなす大通りや、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された「嘉右衛門町（かうえもんちょう）地区」であり、その両側には黒塗りの重厚な見世蔵や、白壁の土蔵群が残り、当時の繁栄振りを偲ばせています。

3 渡良瀬遊水地

2012年7月3日、国際的に重要な湿地の基準に該当したとして「ラムサール条約」に登録されました。3,300ha（東京ドームの約700倍）の広大な面積を有する日本最大の渡良瀬遊水地は、四季折々の景色を見せてくれます。緑豊かな広大なヨシ原が特徴で、貴重な動植物が数多く確認され、まさに「自然の博物館」。野鳥観察や魚釣りを楽しむ人も数多く見られます。バルーンレースや自転車レースなど各種イベントも行われ、市民の憩いの場となっています。

4 蔵の街遊覧船

栃木市の街中を流れる巴波川（うずまがわ）を舟に乗って遊覧。流れに乗って、船頭が栃木市や巴波川の歴史をご案内。船頭が歌う栃木河岸船頭唄を聞きながら、蔵の街並みを眺めれば、そこはまるで江戸時代にタイムスリップしたかのよう。舟の上から眺める景色は、普段とは違った風情を感じさせてくれます。

5 蔵の街美術館

とちぎ蔵の街美術館は、およそ200年前に建てられた土蔵を改修利用。通称「おたすけ蔵」として市民に親しまれ、栃木市に現存する多数の蔵の中でも最古の土蔵群に属する大規模な蔵として、栃木の歴史を見つめてきた記念碑的な建物です。本市にゆかりの深い美術工芸作家の作品と人間国宝を中心とした現代陶芸作家とを収蔵し展覧。漆喰でできた重厚な壁や天井を走る巨大な梁が織りなす空間と美術品の競演は、展覧会ごとに変化に富んだ表情を見せます。

6 太平山

太平山県立自然公園の中心部をなす太平山は、遊覧道路から太平山神社下の随神門、謙信平を経て、大平地域沢口の表参道（あじさい坂入口）へとマイカーやバスが一巡することができます。山頂に近い謙信平からは、関東平野が一望でき、その景観は、陸の松島とも称されています。天気の良い日には東京副都心の高層ビル群や富士山を見ることができます。

お土産&特産品ショップ情報

栃木市アンテナショップまちの駅
コエド市場

「栃木市の魅力ある小江戸ブランド及び地域農産物を通した中心市街地の賑わい創出」を目的として、蔵の街大通りに栃木市アンテナショップまちの駅「コエド市場」がOPEN！店内では、小江戸ブランド商品の他、店舗内のベーカリー「小江戸のぱん屋さん」のパン、農産物、農産加工品、花卉、乳製品、和洋菓子、酒類、お弁当、カフェ（ドリンク・ソフトクリーム・ジェラート・軽飲食他※カフェ類の一部テイクアウト可）などを販売します。

●その他のショップ

- 道の駅にしかた
- 道の駅みかも
- プラッツおおひら
- 花野果ひろば（いわふねフルーツパーク内）

などもあります。

栃木市で暮らす

市民生活を豊かにする、
こんな仕組みがあります。

地域情報

●FMくらら857（コミュティFM放送局）

栃木市の情報発信拠点。災害発生時には、被害状況、避難に関する情報などを速報し、平時には地域のイベントや身近な話題・旬な話題を放送します。カーラジオのほか、携帯電話のアプリやウェブサイトでも聴取できます。

交通

●蔵タク

栃木市では、市民の皆さんの買い物や通院など、日常生活の足として「蔵タク」の運行を行っています。「蔵タク」は、自宅から目的地まで送迎する予約制・乗合の公共交通で、1時間以内に目的地へお送りします。

●ふれあいバス

ふれあいバスは、沿線住民の足として、また、定時性が求められる通勤・通学・観光の足として、市内10路線の運行を行っています。

お問合せ／交通防犯課☎0282-21-2153

地域医療

●とちぎメディカルセンター

・とちぎメディカルセンター しもつが
栃木市大平町川連420-1　☎0282-22-2551

・とちぎメディカルセンター とちのき
栃木市大町39-5　☎0282-22-7722

・介護老人保健施設とちぎの郷
栃木市境町27-21　☎0282-21-8290

各センターでは、急性期、慢性期、保健福祉の各機能を分担し、総合的な地域医療を展開しています。市内にはその他個人病院が100か所以上あり、医療体制が充実しています。

市民活動

●とちぎ市民活動推進センター くらら

初めてのボランティアから、市民活動、NPO法人、協働に関することなど、市民活動を応援します。

栃木市境町19-3　☎0282-20-7131

出産・育児

●両親（母親）教室

保健師、助産師、管理栄養士が、妊娠・出産・育児の正しい知識をお伝えします。全3回コース。安心して出産を迎えるための勉強に加え、仲間づくりの場にもなっています。

●赤ちゃん誕生祝金

赤ちゃんの健やかな成長を願い、18歳未満のお子さんがいるご家族に、新しくお子さん（2人目以降）が誕生した場合、祝金を支給します。

●赤ちゃん訪問

人口比における保健師の数が県内ナンバーワンの栃木市。生まれて間もなく全戸に対して「赤ちゃん訪問」を行います。ご両親が特に不安な時期に、保健師、助産師、母子保健推進員が、育児についてのご相談をお受けします。

●赤ちゃんの駅

乳幼児を連れて外出する時、大変なのが外でのオムツ替えや授乳です。栃木市では、さまざまな企業や施設が「この場所をいつでも使ってください」という場所を提供している印として、「赤ちゃんの駅」の旗を立てたり、シールを貼っています。

●ファミリー・サポート・センター

子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）とそのお手伝いのできる人（提供会員）が、登録をして会員になり、育児の相互援助を行う事業です。依頼に応じて0歳～小学校6年生までのお子さんを対象に、預かりや送迎などの援助を行っています。

・ファミリー・サポート・センター
栃木市箱森町36-31　☎0282-25-1040

・ファミリー・サポート・センターおおひら
栃木市大平町西水代1704-4　☎0282-43-1134

●地域子育て支援センター

地域の子育て拠点として、0歳から就学前の親子の交流の場の提供、子育てに関する相談・援助や子育て関連情報の提供を行っています。市内には地域子育て支援センターが公設で6か所、民設で4か所あります。

子育てに関するイベントなどを開催していますので、気軽に参加しながら友達作りをしてみませんか？

とちぎで働く

栃木市に住んで、とちぎで働く。
自分らしい働き方を見つけよう。

求人

●ハローワーク栃木

職業選択に関する相談、職業紹介、応募するにあたっての書類の書き方、面接の受け方の相談、職業訓練の関する相談等を随時行っています。

栃木市神田町8-5　☎0282-22-4135

●とちぎジョブモール

若年者をはじめ、中高年齢者や障がいのある方など、様々な求職者の方に対し、栃木労働局と連携して、総合的な相談やキャリアカウンセリング、職業相談から職場定着までをワンストップで支援する、栃木県が運営する総合的就労支援機関です。

宇都宮市駅前通り1-3-1 KDX宇都宮ビル1階
☎028-623-3226

●とちぎ暮らしサポートセンター

東京都内においてとちぎへのUIJターンに関する暮らし・仕事・住まいなどの相談応対や、とちぎのまち・ひと・コミュニティの魅力発信を行っています。専任の移住・交流相談員がきめ細かく対応します。お気軽にご相談ください。

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館5階
☎080-9502-5985

●とちぎの就職支援サイト

・WORK WORK（わくわく）とちぎ
http://www.tochigi-work2.net/

●その他

就職面接会等を各地で随時行っています。

シニア求人

●栃木市シルバー人材センター

今までの経験や技術を活かして働きたい、収入を得たい、社会に貢献したいという高齢者にふさわしい仕事を提供します。

栃木市日ノ出町14-36 栃木市民会館2階
☎0282-23-4165

●とちぎ生涯現役シニア応援センター ぷらっと

栃木県では、意欲と能力のあるシニア世代の方々が、その知識と経験を活かして地域社会の支え手として、健康で誇りを持って生涯を送ることのできる「生涯現役社会」の実現を目指しています。

ぷらっとでは、そんないつまでも輝き続けるシニア世代の社会参加活動を応援するために栃木県が設置した施設です。社会貢献活動から就労まで、社会参加活動についての相談に、ワンストップで対応します。

宇都宮市駅前通り1-3-1 KDX宇都宮ビル3階
☎028-622-3018

創業

●栃木市創業トータルサポート窓口

市と商工会議所及び各商工会が連携して、栃木市創業トータルサポート窓口を設置しています。創業塾やチャレンジショップ開設事業の開催などのほか、「栃木市空き店舗.com」サイト内で空き店舗の紹介もしています。

栃木市役所商工振興課　☎0282-21-2371
栃木商工会議所　☎0282-23-2131

●創業塾

創業・独立開業を考えている方に向けて創業塾を開催しています。本事業の修了者には、栃木市が証明書を発行し、栃木市が設置するチャレンジショップに優先的に出店することができます。

●チャレンジショップ開設事業

「とちぎ蔵の街観光館」の一部をチャレンジショップとして出店希望者に貸し出します。

●空き店舗活用促進事業補助

対象地域内の空き店舗への新規出店者に対して補助金を交付します。空き店舗情報の提供も行います。

・栃木市空き店舗.com
http://www.tochigi-akitenpo.com

●中小企業創業基金

市制度融資：限度額500万円

移住・定住の流れ

移住・定住までの流れを
簡単にご説明します。

STEP.1 まずはご家族に相談しよう！

どんな目的で、どんな生活をするために移住するのか、
意思をきちんと伝え、共有しましょう。
きちんと話し合っておかないと、移住後のトラブルになりかねません。

POINT
ご家族やパートナーの方と十分な話し合いの時間を持ちましょう。

STEP.2 地域に関する情報を集めよう！

住まいや仕事のこと、医療機関や教育環境など、
実際に生活をイメージしたら知っておきたいことがたくさんあるはず。
暮らしに必要な情報を集めてみましょう。

POINT
インターネットやパンフレットだけで判断するのではなく、実際に現地に行って雰囲気を体感してみましょう。

STEP.3 移住体験をしよう。

いきなり移住は誰でも不安を感じるもの。
まずは移住体験で暮らしの環境を実際につかんでみましょう。
地元の方と触れ合う楽しい機会でもあります。

POINT
特定の季節だけではなく、春夏秋冬、様々な季節を体感してみましょう。
1年間を通じた暮らしをイメージしやすくなります。

STEP.4 仕事・住まいを探そう！

生活に当然必要な、仕事と住まい。
栃木市では就職や住居探しのサポートを行っています。
就きたい仕事と、思い描く暮らしのイメージに合った住居を探しましょう。

POINT
仕事や住まい探しに並行して、移住に必要な物をリストアップしておきましょう。
例えば、いざという時のための貯蓄や自動車の運転免許取得などです。

STEP.5 いざ移住！新生活を楽しもう！

引越しが完了したら、いよいよ栃木市での新生活のスタートです。
住居周辺の情報収集をを兼ねて、ご近所に挨拶に行ってみては？
いち早く親しいご近所さんを作ることで、新生活がぐっと楽しくなりますよ。

POINT
「郷に入れば郷に従う」ということわざもあります。「地域の中に仲間入りさせてもらう」くらいの気持ちで、地域の方と接していきましょう。

移住・定住を応援する、こんな制度あります

●住まい

事業名	制度の内容	補助の対象	補助率	限度額（円）	担当課
IJU（移住）補助金	栃木市に定住を希望し、本市の市街化区域（西方地域は用途地域）に新たに住宅を新築・購入し、その後本市に住み続けていただける方に対する補助 ・平成28年4月から平成30年3月末までの契約で取得した住宅が対象	新築の物件	－	300,000	住宅課
		中古の物件	－	200,000	
		若年世帯加算（40歳未満）	－	100,000	
		若年世帯加算（40歳以上50歳未満）	－	50,000	
		子ども加算（18歳未満1人当たり）	－	100,000	
		勤労者加算（市内勤労者）	－	100,000	
		勤労者加算（市外勤労者）	－	50,000	
多世代家族住宅新築等補助金	栃木市に定住を希望し、本市の市街化調整区域等に多世代が同居・近居するための住宅を新築・購入・増改築した方に対する補助 ・平成28年4月から平成30年3月末までの契約で取得した住宅が対象	市街化調整区域（西方地域は用途地域以外）に所在する住宅で、3世代以上が同居または近居するもの	－	200,000	住宅課
空き家バンクリフォーム補助金	空き家バンクに登録された空き家等の所有者もしくは購入・賃貸する者がリフォーム及び家財の処分を行う場合、工事費等を補助	20万円以上のリフォーム工事費	1/2	500,000	住宅課
		5万円以上の家財処分費	1/2	100,000	
空き家等改善資金利子補給金	空き家を補修し活用するために改善資金を借り入れる場合に借入金に対する利子を補給	借入金（最高200万円）に対する利子	－	－	住宅課
木造住宅耐震診断費補助金	昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅に対する耐震診断等に必要な経費の一部を補助	耐震診断費用	－	30,000	建築課
		補強計画策定費用	2/3	80,000	
木造住宅耐震改修費等補助金	昭和56年5月31日以前の旧耐震基準で建築された住宅に対する耐震改修等に必要な経費の一部を補助	耐震改修費用	1/2	1,000,000	建築課
		耐震建替費用（耐震改修費用相当分）	1/2	600,000	
勤労者住宅資金融資	自ら居住する住宅の新築・増改築又は分譲住宅の購入並びに宅地購入資金（5年以内に住宅建築要）に対する融資（中央労働金庫栃木支店扱い）	市内に居住し又は居住しようとする者で、同一事業所に1年以上勤務しており、今後も引き続き同事業所に勤務する方 年収の1/12の額が毎月の返済金の5倍以上となる方（同一世帯の者の収入を加算）	年利2.58%	20,000,000	商工振興課
生垣設置奨励補助金	緑あふれる潤いと安らぎのあるまちづくりの推進を図るため、生垣の設置に必要な経費の一部を補助 ・補助金の額＝2,000円×生垣の延長（m）	住宅の敷地に設置するもの	－	30,000	公園緑地課
		道路又は隣地との境界に設置するもの			
		高さ80cm、延長3m以上、生垣2本/m以上			
		境界から30cm以上離す			
浄化槽設置補助金	公共下水道認可区域外及び農業集落排水処理区域外で浄化槽を設置する個人に対する補助 ・専用住宅（店舗併用住宅は延床面積の1/2以上を居住の用に供する建築物）が対象	5人槽	－	332,000	下水道業務課
		6～7人槽	－	414,000	
		8～10人槽	－	548,000	
		敷地内処理装置	－	100,000	
雨水貯留・浸透施設設置補助金	雨水貯留・浸透施設を設置する個人に対する補助 ・専用住宅（店舗併用住宅は延床面積の1/2以上を居住の用に供する建築物）が対象	雨水貯留施設（1基まで）	1/2	30,000	下水道業務課
		雨水浸透施設（4基まで）	1/2	50,000	

※事前申請が必要な場合がありますので、制度の詳細や申請方法・必要書類などは担当課までお問合わせください。

●住まい

事業名	制度の内容	補助の対象	補助率	限度額（円）	担当課
住宅用太陽光発電システム設置費補助金	市民が自ら居住する住宅に太陽光発電システムを設置する費用の一部を補助	申請者が自ら居住する市内の住宅に太陽光発電システムを設置し、又は、市内の太陽光発電システム付き住宅を購入した方（ただし、当該住宅が自己の所有する住宅以外の住宅である場合は当該住宅の所有者の承諾書を提出できる方に限る） 1住宅につき1補助かつ1申請者につき1回限り	1kw 25,000円	100,000	環境課
生ごみ処理機設置費補助金	市民が自宅のごみを処理するに当たり、生ごみ処理機の購入費用の一部を補助	・コンポスト購入費用 ・堆肥化促進容器購入費用	2/3	5,000	環境課
		・電気式生ごみ処理機購入費用	1/2	20,000	
住宅改修費の支給（介護保険サービス）	日常生活に必要な小規模の改修費用に対する支給	栃木市で介護保険の認定を受けている方 ・既存住宅の改修（手すりの取付け、段差の解消等） ・改修費用20万円を限度として、その8割または9割を支給 ・事前に申請が必要 ・新築工事は対象外	8/10 9/10	160,000 180,000	高齢福祉課

●仕　事

事業名	制度の内容	補助の対象	補助率	限度額（円）	担当課
空き店舗活用促進事業補助金	市内で過去1年間、店舗経営の経験がない新規開業者で、新たに空き店舗を活用して小売業、飲食業、サービス業を営む方（空き店舗の要件は、3カ月以上使用されていないこととする） ※対象となる地域・店舗等についてはお問い合わせください。	店舗部分改装費（内装、外装等工事費等）	1/2	1,000,000	商工振興課
		開店後、最長12か月分の家賃（店舗部分のみ）	1/2	500,000	
		専門家相談費用（営業開始から1年間:5回まで）	1/2	1回につき16,000円	
青年就農給付金（経営開始型）	就農前後の青年就農者に対する給付金の給付 ※農業法人等の青年就農者の雇用における実践的な研修への助成、高度な経営力・地域リーダーとしての人間力を養成する農業者経営教育機関等に対する支援なども行います。	経営開始直後の青年就農者	－	年間1,500,000（最長5年間）	農業振興課
新規就農サポート事業	青年の就農意欲の喚起及び就農後の定着を図ることを目的に、新規就農者に対し農業経営に係る経費の一部を補助	資材費、種苗費その他農業生産に係る経費や経営管理の合理化又は高度化のために導入する機器に係る経費など	－	300,000	農業振興課

●教　育

事業名	制度の内容	補助の対象	補助率	限度額（円）	担当課
未来応援奨学金（定住促進奨学金）	経済的理由で就学が困難な者に対する貸付 卒業後に本市に5年居住した場合は返還免除	6月以上住所を有する者が扶養する、高等専門学校（4、5年生）、専修学校（専門課程）、短大・大学に入学予定者又は在学生で卒業後本市に定住する予定の者 ・1人当たり月額20,000円、年額240,000円を支給	－	240,000円/年	教育総務課
食物アレルギー対応学校生活管理指導表助成事業	市が指定する医療機関において食物アレルギーを持つ児童・生徒の学校生活管理指導表の作成費（2,000円まで）を助成	食物アレルギーを持つ市内小中学校児童生徒	－	2,000	保健給食課

※事前申請が必要な場合がありますので、制度の詳細や申請方法・必要書類などは担当課までお問合わせください。

●医　療

事業名	制度の内容	補助の対象	補助率	限度額（円）	担当課
こども医療費助成制度	中学生までのお子さんが県内の医療機関等における入院・通院、院外処方に関する保険診療の自己負担分を助成	中学生まで	－	－	保険医療課
妊産婦医療費助成制度	妊婦さんが健康保険が適用になる診療を受けた場合の自己負担分を助成	母子健康手帳の交付を受けた月の初日から出産した月の翌月まで	－	－	保険医療課
ひとり親家庭医療費助成制度	ひとり親家庭の親と子を対象に健康保険が適用になる診療を受けた場合の自己負担分を助成（一定の所得制限あり）	受給資格者証交付申請の属する月の初日から次の7月31日まで（毎年更新が必要）	－	－	保険医療課
重度心身障がい者医療費助成制度	一定の障がいがある方が健康保険が適用になる診療を受けた場合の自己負担分を助成	受給資格者証交付申請の属する月の初日（転入日）から	－	－	保険医療課
不妊治療費助成制度	不妊治療を受けているご夫婦に対して医療保険が適用されない治療費の一部を助成	国内の医療機関における不妊治療で、医師により必要と認められた検査費及び治療費（平成28年3月31日までに開始した治療は1年度10万円を限度）	1/2	年度内1回まで150,000	保険医療課
不育症治療費助成制度	不育症と診断され不育症治療を受けているご夫婦に対して医療保険が適用されない治療費の一部を助成	国内の医療機関における不育症治療で、不育症と診断され医師により必要と認められた検査費及び治療費	1/2	1年度300,000	保険医療課
小児インフルエンザ予防接種費用助成事業	インフルエンザ予防接種の費用を助成 ・10月1日から翌年2月末日まで	満1歳から小学校入学前まで	－	年度内2回まで1回2,500円	健康増進課
任意接種費用助成事業	今後定期接種化が検討されている4ワクチン（ロタウイルス、B型肝炎、おたふくかぜ）へ半額程度の接種費用を助成 ※B型肝炎は平成28年10月に定期接種化される予定ですが、市では対象外のお子さんに対して10月以降も費用を助成する予定です。	ロタウイルス1価（ロタリックス）生後6週0日から24週0日まで	－	2回まで1回7,600円	健康増進課
		ロタウイルス5価（ロタテック）生後6週0日から32週0日まで	－	3回まで1回5,300円	
		B型肝炎 生後2月から24月に至るまで	－	3回まで1回3,300円	
		おたふくかぜ 生後12月から60月に至るまで	－	1回まで3,600円	
風しん予防緊急対策事業	先天性風しん症候群予防のため風しん抗体検査及び予防接種の費用を助成	妊娠を希望している女性とその配偶者及び妊娠している女性の配偶者	－	抗体検査1回まで2,000円 風しんワクチン1回まで3,000円 麻しん風しん混合ワクチン1回まで5,000円	健康増進課
高齢者インフルエンザ予防接種費用助成事業	インフルエンザ予防接種の費用を助成 ・10月1日から翌年2月末日まで	65歳以上	－	年度内1回3,500円	健康増進課
妊婦健康診査事業	妊婦健康診査受診票により14回分の健診費用を助成	妊婦	－	95,000	健康増進課
妊婦歯科健康診査事業	指定医療機関において、妊娠中に1回、無料で受診可能	妊婦	－	－	健康増進課

※事前申請が必要な場合がありますので、制度の詳細や申請方法・必要書類などは担当課までお問合わせください。

先輩インタビュー
移住者の声
税理士 菊地 大輔さん の場合

移住のきっかけは、“子どものこと”でした。

いざ、横浜市から栃木市へ

以前は横浜市に住んでいまして、横浜の市街地や渋谷にも電車で30分以内で行ける利便性の良い環境でした。学校や病院も近くにあり、苦労したことはありませんでした。家の近所や、駅の周辺にはお店がたくさんあり、買い物などには便利な反面、道路が狭く、一方通行が多かったりと車での行動が制限される場所でした。

2LDKのマンション暮らしで、3人の子どもがいましたので、子どもの将来を考えた時、「彼らに与える部屋がない」という問題に直面しました。そんな折、妻のお腹に4人目がいることが分かったのです。

そういった流れの中、妻の実家がある栃木市に、義父が畑として使っていた土地があるという話を妻から聞きました。そこで義父にそちらの土地の一部を宅地にしてもらえないかとお願いしてみたところ、娘が帰ってくるということもあり、快諾してくれました。そこから私たちの移住計画がスタートしたのです。

周囲に育ててもらえる環境

移住に関して言えば、“良いことだけ”ですね。

妻の実家や、親戚の家が近所にあるので、子どもが病気になった時や学校の行事がある時など、子どもの面倒を見てもらえるので助かっています。周囲に育ててもらえる環境です。

私の両親は生まれが仙台、私の実家は千葉ということで、私自身は近くに親戚がいない環境で育ちました。親戚の子どもたちの成長を間近で見られ、また自分の子どもの成長も感じとってもらえるという暮らしは理想でした。

子どもが遊びに行く際も、以前住んでいた横浜では、近所の公園まで一緒に付いていかないと不安でしたが、こちらでは自宅の庭が広いので、子どもたちを安心して遊ばせることができます。

また、自転車の練習をするときも、以前ですと私が公園まで自転車を担いで行きました。練習をするには広さが十分でないため、公園の中を何度もUターンしながら練習していましたが、ここでは自宅の庭で練習ができます。

子どもたちも、自然豊かなこの街でのびのびと育ち、長男にも頼もしさが出てきたように感じられます。

また、妻の実家の畑は義父の友人に貸しているのですが、その方から「実った野菜は自由に持っていっていいよ」と言われていまして、そういった心の垣根の低さも田舎暮らしの魅力ではないでしょうか。

地域に密着した仕事を

私が最近取り組んでいるものに、「成年後見人」という制度があります。認知症、知的障害、精神障害などの理由により判断能力が十分でない方が不利益を被らないよう家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人を付ける制度です。

後見人に選任されるには、まず相手に信頼されることが重要です。地域に根付いた、顔の見える、「あそこに住んでいる菊地さんだ」という、所在のはっきりした税理士として認めてもらい、少しづつ信頼を得ていきたいですね。

自分のスキルを活かした、こういった制度を通して、地域に密着した仕事を増やしていきたいと思います。

東武線を利用して都心の職場まで通勤しています。決して短い距離ではありませんが、子どもたちが起きている時間に帰ってこられるので、苦ではありませんね。私の理想としていた暮らしがここにはあるのです。

先輩インタビュー
移住者の声
農家 田中 潔さん の場合

ここにしかない土で、僕にしかつくれない米を。

写真の世界で見つめた、ルーツ。

大学受験に失敗して浪人していた時、親から「勉強がダメなら農業をやれ」と言われて、家出したんです。たまたまその時期に写真に興味を持ちはじめたので、東京でアシスタントをやりはじめ、そのままカメラマンに。プロとして生計を立てることになった写真の世界では、いつもオリジナリティが問われていました。自分にしかないものは何か。突き詰めて考えていくと、自分の生まれ育った土地や環境しかないと思いました。そんな気づきから、実家の写真を撮るようになったのが、29歳くらいのこと。家を飛び出してから、10年後のことでしたね。

写真を撮っていくうちに、以前は見えなかった家のことが見えてきました。神様が家の中にいて、一年中行事がある。400年続けてきた農業によって築かれた形や精神性を、美しいと思えるようになったんです。ところが、兄弟も公務員で農業を継ぐ人がいない。このままでは自分のルーツであるこの家が崩れてしまう。それが怖くて、自分にできることは何かと考えはじめました。僕がやってきたのは、写真というモノづくり。自分なりのアプローチで、農業というモノづくりに挑戦してみようと決意して、実家へ戻ることになったんです。

自分なりの、アプローチ。

主な収入源であるニラと並行して、父は米もつくっていましたが、米に関しては他の人にお願いしている状態。「つくっている」とは言えないのではないか？そんな危機感から、自分のブランドをつくろうと考えました。この肥沃な土地でしかつくれない米を。そんな思いをこめて、地域の名前の新波（ニッパ）から、「NIPPA米」と名付けました。無有機、無農薬で、農薬や化学肥料に頼らずに栽培し、栃木県特産の大谷石の粉末を撒いてみたり、試行錯誤しながら作品づくりに励んでいます。

カメラマンとして培ったモノづくりへのアプローチを活かすことが農業をはじめる条件でしたから、僕の農業は「表現」であり、つくる作物は「作品」でなくてはいけません。米づくりへの僕なりのアプローチとは、経験に裏打ちされた父のやり方を一度解体してみることでした。父の米づくりを疑い、一つひとつの行程を検証し、この土地ならではの味を一番表現できる方法を探っているんです。もちろん、父の方法が正しいこともあります。「なんで知ってるの？」と聞いても「昔からそうだから」としか言いません。伝統や経験って、それだけすごいものなんですね。

新波の、NIPPA米。

カメラマンとしては、依頼された仕事しかやっていませんでした。今は農業の方が写真よりもクリエイティブな仕事だと感じています。自分の理想とする米を、自分の考えた方法で追求していく。それを美味しいと言ってくれる人がいる。そして、食べてくれた人の体をつくる仕事ですから。今はなるべく顔の見える関係の中で販売しているので、生産量はまだまだです。面積を広げたいという思いもありますが、不特定多数に大量に売れればいいってものでもないので徐々に増やしていければと思います。

栃木市暮らしを
試してみませんか？

移住を考えているけど、実際の生活に不安を感じている方が、一定期間滞在し、栃木市での暮らしを体験できる家をご用意しました。それが『蔵の街やどかりの家』。移住に向けての仕事探しや住居探しの拠点としてもご利用いただけます。

蔵の街やどかりの家とは？

栃木市の中心部にある県庁堀。その県庁堀沿いの一角に佇む一軒家です。風情のある門をくぐると梅の花が出迎えてくれます。古風で趣のある建物は昭和２５年に建てられた渋みのある住宅です。襖や照明など細部にもこだわりのあるおしゃれな造りが魅力ですが、実はこの家は１１年間も空き家になっていたもので、畳とお風呂を新しくした以外は、ほぼ元のまま使用しています。まちなかにあり、蔵の街からも近いため、栃木市の魅力を余すとこなく堪能できます。この家で、栃木市の歴史や文化を肌で感じてください。

なお、栃木市では空き家の有効活用を推進しており「あったか住まいるバンク」で、市内にある空き家を紹介しています。比較的低価格で家を手に入れることができますし、各種補助制度を用意しておりますので、「移住はしたいけれどお金が心配」という方にはぴったりです。

まずは試してみよ

対象者 栃木市に移住または二地域居住を考えている方

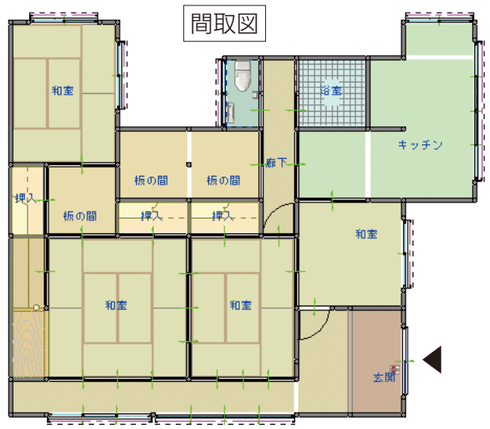
場所 栃木県栃木市入舟町14-17

設備・備品 バス、トイレ、キッチン、エアコン、冷蔵庫、炊飯器、調理器具、食器、掃除機、レンジ、テレビ

期間 １泊～１か月以内

利用料 １泊2,000円・１か月30,000円（光熱水費込）
※食費や交通費、生活に必要な消耗品は自己負担となります。

周辺情報 栃木駅まで車で５分、スーパー・百貨店まで徒歩５分、金融機関まで徒歩５分、市役所本庁舎まで徒歩５分。

利用方法 利用開始希望日の１週間前までに、インターネットから申込み。
※電話、FAXによる申込みも可。

詳しくはコチラにアクセス！
tochigi-akiya.jp/trial/
または
栃木市 移住体験 検索